

おいしさと健康



# 第110期

## 報告書

[平成26年4月1日 ▶ 平成27年3月31日]



江崎グリコ株式会社



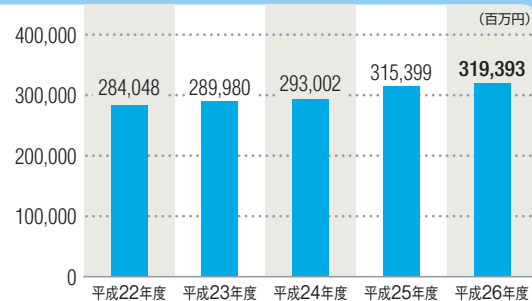
## Glicoの理念 おいしさと健康

おいしさの感動を、健康の歓びを、  
生命の輝きを

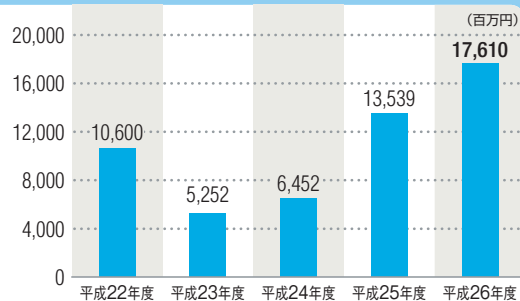
Glicoは、ハート・ヘルス・ライフのフィールドで  
いきいきとした生活づくりに貢献します。

## 財務ハイライト | 連結

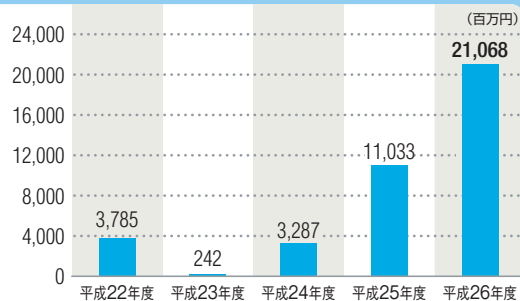
### 売上高



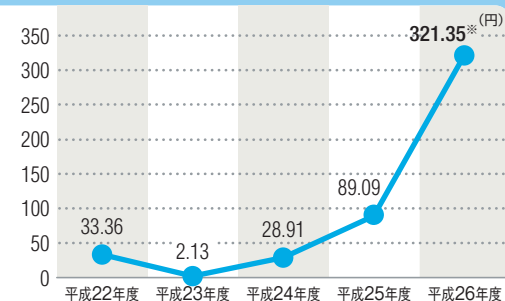
### 経常利益



### 当期純利益



### 1株当たり 当期純利益



※平成26年10月1日付で普通株式2株を1株の割合で併合したため、当連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

## C O N T E N T S

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 株主の皆様へ .....            | 2  |
| セグメント別の概況(連結) .....     | 3  |
| 連結決算の状況 .....           | 5  |
| 長期構想・中期目標 .....         | 7  |
| ニュース .....              | 9  |
| グリコの歴史シリーズ .....        | 10 |
| トピックス 新製品のご紹介 .....     | 11 |
| 会社の概要 .....             | 15 |
| 株式の状況 .....             | 16 |
| 株主メモ .....              | 17 |
| 株券電子化後の各種お手続きについて ..... | 18 |

# 株 主 の 皆 様 へ

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。当社の第110期報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等、一部には景気回復の兆しはあるものの、長引く消費税増税の影響と急激な円安に伴う実質所得の低下によって消費動向は低調に推移し、海外景気の下振れ懸念と相まって、依然として不透明な状況で推移しました。食品業界におきましては、円安による原材料価格の上昇等によって、取り巻く経営環境は一段と厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「グリコグループ行動規範」に基づき、信頼される企業であり続けることを事業展開の基本としながら、主力品の売上拡大や新製品・系列品の発売、話題のキャラクターとコラボした販売促進策等を積極的に展開いたしました。また海外では、中国やタイ、インドネシア等において積極的な事業展開を推し進めました。

その結果、売上面では、食品部門は前年同期を下回りましたが、菓子部門、冷菓部門、牛乳・乳製品部門、食品原料部門、その他部門が前年同期を上回ったため、当連結会計年度の売上高は319,393百万円となり、前連結会計年度(315,399百万円)に比べ1.3%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、円安や相場変動による

取締役社長

北崎 勝久



原料費の上昇はありましたが、増収、販売品種構成の変化及びタイ子会社の洪水被害からの復旧等により、全体ではダウンしました。販売費及び一般管理費では、運送費及び保管費、厚生費等は減少したものの、積極的な販売対策の実施等により販売促進費及び広告宣伝費等が増加しました。その結果、営業利益は14,247百万円で、前連結会計年度(11,645百万円)に比べ2,602百万円の増益となり、経常利益は17,610百万円で、前連結会計年度(13,539百万円)に比べ4,070百万円の増益となりました。

また、当連結会計年度は東京の工場跡地譲渡に伴う固定資産売却益等を特別利益に計上いたしました。その結果、当期純利益は21,068百万円となり、前連結会計年度(11,033百万円)に比べ10,034百万円の増益となりました。

なお、配当金については、中間配当(1株につき5円)に加え、1株につき30円※とさせていただきます。当社を取り巻く環境は益々厳しくなってきましたが、全社を挙げて業績の向上をはかり、株主の皆様のご期待におこたえする所存でございます。

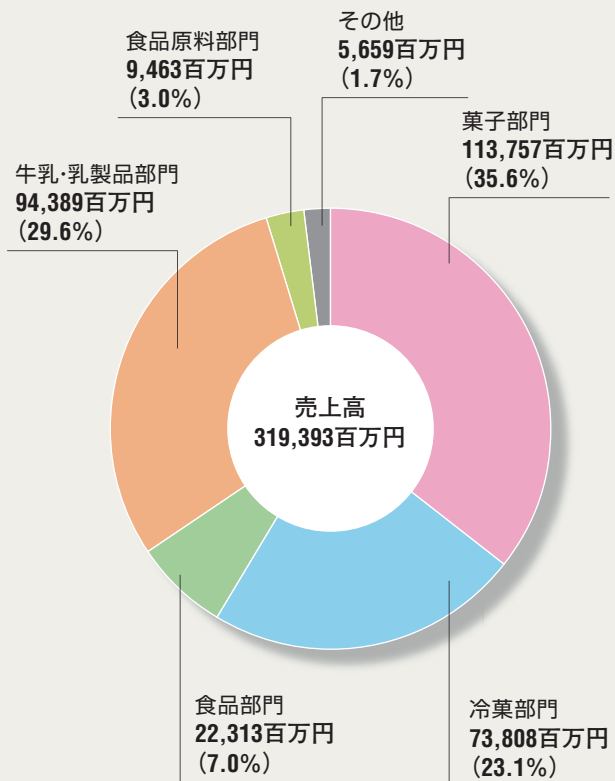
今後とも、株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

※当社は、平成26年10月1日付で、普通株式2株を1株とする株式併合を実施しております。上記に記載しております配当金は、株式併合前の中間配当と株式併合後の期末配当をそのまま記載しております。株式併合実施前を基準に換算すると、期末配当は1株につき15円、年間配当金は、1株当たり20円に相当いたします。

# セグメント別の概況 連結

## ●セグメント別売上高とその割合



### 菓子部門

**113,757百万円**

前年同期比12.5%の増収



“神戸ローストショコラ”「ポッキーグループ」「プリッツグループ」等が前年同期を上回りました。海外では、タイや中国で売上を大きく伸ばしました。また、2014年3月にインドネシアで新規設立した卸売販売子会社も増収に寄与しました。その結果、当連結会計年度の売上高は113,757百万円となり、前年同期(101,076百万円)に比べ12.5%の増収となりました。

### 冷菓部門

**73,808百万円**

前年同期比5.0%の増収



“パピコ”は前年同期を下回ったものの、“ジャイアントコーン”“アイスの実”等が前年同期を上回り、“チョコフォンデュソフト”も順調に売上を伸ばしました。また、卸売販売子会社2社も前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は73,808百万円となり、前年同期(70,305百万円)に比べ5.0%の増収となりました。

## 食品部門

**22,313百万円**  
前年同期比0.7%の減収



“ZEPPIN”等は前年同期を上回りましたが、“カップスープ”等は前年同期を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は22,313百万円となり、前年同期(22,464百万円)に比べ0.7%の減収となりました。

## 食品原料部門

**9,463百万円**  
前年同期比4.5%の増収



“A-グル”等が前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は9,463百万円となり、前年同期(9,060百万円)に比べ4.5%の増収となりました。

## 牛乳・乳製品部門

**94,389百万円**  
前年同期比2.9%の増収



“ドロリッチ”等が前年同期を下回りましたが、“朝食Bifixヨーグルト”「粉ミルク」等が前年同期を上回り、新製品“アーモンド効果”“Bifix1000”も売上を伸ばしました。一方、キリンビバレッジ(株)からの業務受託による売上は前年同期を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は94,389百万円となり、前年同期(91,687百万円)に比べ2.9%の増収となりました。

## その他部門

**5,659百万円**  
前年同期比3.4%の増収

スポーツフーズは前年同期を下回ったものの、オフィスグリコが前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は5,659百万円となり、前年同期(5,475百万円)に比べ3.4%の増収となりました。

# 連結決算の状況

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

|            | 前連結会計年度<br>(平成26年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成27年3月31日) |                | 前連結会計年度<br>(平成26年3月31日) | 当連結会計年度<br>(平成27年3月31日) |
|------------|-------------------------|-------------------------|----------------|-------------------------|-------------------------|
| [資産の部]     |                         |                         | [負債の部]         |                         |                         |
| I 流動資産     | 114,869                 | 132,322                 | I 流動負債         | 74,301                  | 78,729                  |
| 現金及び預金     | 28,720                  | 37,110                  | 支払手形及び買掛金      | 25,749                  | 29,564                  |
| 受取手形及び売掛金  | 30,686                  | 33,078                  | 短期借入金          | 8,025                   | 7,621                   |
| 有価証券       | 27,857                  | 29,248                  | 1年内返済予定の長期借入金  | 10,000                  | 4,000                   |
| 商品及び製品     | 9,503                   | 11,060                  | 未払費用           | 20,483                  | 22,121                  |
| 仕掛品        | 816                     | 859                     | 未払法人税等         | 1,960                   | 5,401                   |
| 原材料及び貯蔵品   | 10,064                  | 13,144                  | 販売促進引当金        | 1,584                   | 1,509                   |
| 前渡金        | 433                     | 706                     | 役員賞与引当金        | 44                      | 44                      |
| 前払費用       | 216                     | 247                     | その他            | 6,455                   | 8,468                   |
| 短期貸付金      | 115                     | 91                      | II 固定負債        | 23,438                  | 21,734                  |
| 繰延税金資産     | 1,285                   | 2,246                   | 長期借入金          | 5,331                   | 1,343                   |
| その他        | 5,268                   | 4,606                   | 退職給付に係る負債      | 11,063                  | 10,281                  |
| 貸倒引当金      | △98                     | △78                     | 事業構造改善引当金      | 105                     | 105                     |
| II 固定資産    | 128,374                 | 142,979                 | その他            | 6,938                   | 10,004                  |
| (有形固定資産)   | 70,671                  | 72,707                  | 負債合計           | 97,740                  | 100,464                 |
| 建物及び構築物    | 22,408                  | 22,374                  | [純資産の部]        |                         |                         |
| 機械装置及び運搬具  | 27,351                  | 28,271                  | I 株主資本         | 132,700                 | 153,198                 |
| 工具、器具及び備品  | 3,423                   | 3,909                   | 資本金            | 7,773                   | 7,773                   |
| 土地         | 14,798                  | 13,933                  | 資本剰余金          | 7,413                   | 7,484                   |
| リース資産      | 524                     | 446                     | 利益剰余金          | 124,123                 | 144,566                 |
| 建設仮勘定      | 2,163                   | 3,771                   | 自己株式           | △6,610                  | △6,626                  |
| (無形固定資産)   | 3,644                   | 3,203                   | II その他の包括利益累計額 | 8,740                   | 16,114                  |
| ソフトウェア     | 2,250                   | 1,939                   | その他有価証券評価差額金   | 7,478                   | 11,875                  |
| その他        | 1,394                   | 1,264                   | 為替換算調整勘定       | 2,087                   | 4,281                   |
| (投資その他の資産) | 54,059                  | 67,068                  | 退職給付に係る調整累計額   | △824                    | △42                     |
| 投資有価証券     | 42,356                  | 47,534                  | Ⅲ少数株主持分        | 4,062                   | 5,526                   |
| 長期貸付金      | 348                     | 334                     | 純資産合計          | 145,504                 | 174,838                 |
| 長期前払費用     | 180                     | 143                     | 負債純資産合計        | 243,244                 | 275,302                 |
| 退職給付に係る資産  | 1,883                   | 2,746                   |                |                         |                         |
| 投資不動産      | 3,286                   | 12,402                  |                |                         |                         |
| 繰延税金資産     | 2,505                   | 810                     |                |                         |                         |
| その他        | 3,660                   | 3,152                   |                |                         |                         |
| 貸倒引当金      | △162                    | △57                     |                |                         |                         |
| 資産合計       | 243,244                 | 275,302                 |                |                         |                         |

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

|                       | 前連結会計年度<br>(25.4.1～26.3.31) | 当連結会計年度<br>(26.4.1～27.3.31) |
|-----------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| I 売上高                 | 315,399                     | 319,393                     |
| II 売上原価               | 178,795                     | 177,782                     |
| <b>売上総利益</b>          | <b>136,603</b>              | <b>141,610</b>              |
| III 販売費及び一般管理費        | 124,957                     | 127,363                     |
| <b>営業利益</b>           | <b>11,645</b>               | <b>14,247</b>               |
| IV 営業外収益              | 3,041                       | 4,370                       |
| V 営業外費用               | 1,147                       | 1,008                       |
| <b>経常利益</b>           | <b>13,539</b>               | <b>17,610</b>               |
| VI 特別利益               | 4,187                       | 13,523                      |
| VII 特別損失              | 357                         | 20                          |
| <b>税金等調整前当期純利益</b>    | <b>17,370</b>               | <b>31,113</b>               |
| 法人税、住民税及び事業税          | 3,549                       | 7,312                       |
| 法人税等調整額               | 1,741                       | 1,825                       |
| <b>少数株主損益調整前当期純利益</b> | <b>12,078</b>               | <b>21,975</b>               |
| 少数株主利益                | 1,044                       | 907                         |
| <b>当期純利益</b>          | <b>11,033</b>               | <b>21,068</b>               |

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

|                             | 前連結会計年度<br>(25.4.1～26.3.31) | 当連結会計年度<br>(26.4.1～27.3.31) |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>     | <b>22,499</b>               | <b>24,520</b>               |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>     | <b>△14,934</b>              | <b>△7,876</b>               |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>     | <b>8,943</b>                | <b>△13,202</b>              |
| <b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>     | <b>1,685</b>                | <b>1,740</b>                |
| <b>現金及び現金同等物の増減額</b>        | <b>18,194</b>               | <b>5,180</b>                |
| <b>現金及び現金同等物の期首残高</b>       | <b>35,378</b>               | <b>54,225</b>               |
| <b>新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額</b> | <b>652</b>                  | <b>—</b>                    |
| <b>現金及び現金同等物の期末残高</b>       | <b>54,225</b>               | <b>59,406</b>               |

## 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

(単位:百万円)

|                               | 株 主 資 本      |              |                |               |                | その 他 の<br>包 括 利 益<br>累 計 額 | 少 数 株 主<br>持 分 | 純 資 産<br>合 計   |
|-------------------------------|--------------|--------------|----------------|---------------|----------------|----------------------------|----------------|----------------|
|                               | 資 本 金        | 資 剩 余 金      | 利 剩 余 金        | 自 己 株 式       | 株 主 資 本<br>合 計 |                            |                |                |
| 当期首残高                         | 7,773        | 7,413        | 124,123        | △6,610        | 132,700        | 8,740                      | 4,062          | 145,504        |
| 会計方針の変更による累積的影響額              |              |              | 115            |               | 115            |                            | 0              | 115            |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高             | 7,773        | 7,413        | 124,239        | △6,610        | 132,816        | 8,740                      | 4,062          | 145,619        |
| 連結会計年度中の変動額                   |              |              |                |               |                |                            |                |                |
| 剰余金の配当                        |              |              | △1,966         |               | △1,966         |                            |                | △1,966         |
| 当期純利益                         |              |              | 21,068         |               | 21,068         |                            |                | 21,068         |
| 自己株式の取得                       |              |              |                | △77           | △77            |                            |                | △77            |
| 自己株式の処分                       |              | 70           |                | 61            | 131            |                            |                | 131            |
| 持分法の適用範囲の変動                   |              |              | 1,225          |               | 1,225          |                            |                | 1,225          |
| 株主資本以外の項目の<br>連結会計年度中の変動額(純額) |              |              |                |               |                | 7,373                      | 1,463          | 8,837          |
| 連結会計年度中の変動額合計                 | —            | 70           | 20,327         | △15           | 20,381         | 7,373                      | 1,463          | 29,218         |
| <b>当期末残高</b>                  | <b>7,773</b> | <b>7,484</b> | <b>144,566</b> | <b>△6,626</b> | <b>153,198</b> | <b>16,114</b>              | <b>5,526</b>   | <b>174,838</b> |

グリコグループは、2020年を見すえて長期的な目標を策定し、安定した営業利益率、ROEを確保できるグループを目指しています。

## 目標 1

## 国内・海外で安定した営業利益率を確保

国内 営業利益率5%以上

海外 営業利益率10%以上

## 目標 2

## ROE（株主資本利益率）10%以上を継続的に確保（特別損益を除く）

## 目標達成に向けた取り組み

強い商品  
カテゴリー  
（成長エンジン）  
の創出

## 成長を牽引するカテゴリー群に集中投資

今後のグリコを牽引するカテゴリー群を成長エンジンと位置づけ、ブランド戦略に基づいてこれらのカテゴリーに集中投資を行い、強固な事業規模を獲得します。

●チョコレート ●アイスクリーム ●ビスケット ●発酵乳 ●洋生菓子 ●健康分野

強固な事業  
規模を獲得

積極的な  
海外展開

## アジアを中心とした海外展開の推進

●東南アジア、東アジア、欧米への進出と定着

中国・韓国・タイ・ベトナム・マレーシア・インドネシアでさらなる事業拡大を推進。海外の売上構成比を高め、営業利益率の向上を図ります。

海外で売上高  
1,000億円へ  
海外で安定した  
営業利益確保

2017年度までの中期目標として、国内事業ではグループとしての競争力を強化し、海外事業では安定した営業利益確保を目指します。

## 経営方針

## 事業成長を加速させ、「世界のグリコ」へと踏み出す

## 重点取り組み

## 国内事業

- 強い商品カテゴリー（成長エンジン）への集中と収益力の強化
- カテゴリーマネジメント体制を定着させ、「収益力拡大」「トップブランド育成」「トップシェアの確保」につなげる

## 海外事業

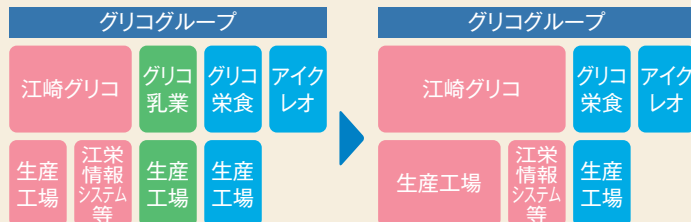
- アジアでの成長を加速し、欧米での事業強化に取り組む
- 「2020年Pocky 10億ドル」達成に向け、具体的戦略を構築、実行する
- インドネシアにおけるアイスクリーム事業を定着させる
  - ・WINGS社と合併会社を設立：インドネシア国内で冷菓事業を展開
  - ・2016年4月から店頭販売を開始



## 江崎グリコとグリコ乳業が合併

グループ経営の合理化・効率化、さらには収益性向上と市場競争力強化を目的に、2015年10月1日、江崎グリコと、当社の完全子会社であるグリコ乳業が合併することになりました。

※グリコ乳業は当社が100%出資する連結子会社のため、合併による連結業績への影響はありません。



## 「POCKY」をグローバルブランドへ

「POCKY」をグローバルブランドに成長させるため、海外展開を強化します。

## インドネシア

- グリコインドネシアを設立し、2014年4月から販売を開始しました。JKT48をポッキーブランドのアンバサダーに起用し、テレビCMやパッケージなどでマーケティングを展開します。
- ジャワ島のみならず、西ジャワ、スマトラ島を中心に販売網を拡大します。



## 韓国

- 2014年6月に他にはない“つぶつぶフルーツ系”の「ストロベリー」を発売しました。
- 2015年3月、「ブルーベリー」を発売。秋からテレビCMを放映し、ポッキーブランドの魅力をアピールしていきます。

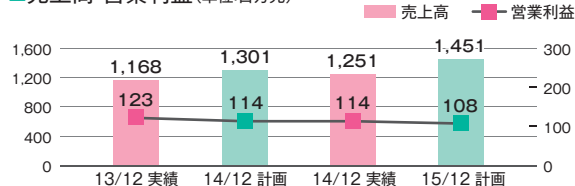


## 中国

## 重点都市へ販路拡大

- 重慶、西安、済南などの1級都市、および内陸部の主要都市に人材を投入し、販売エリア拡大を加速します。
- 新製品「ポッキー超細」を発売し、商品力も強化します。

■売上高・営業利益(単位:百万円)

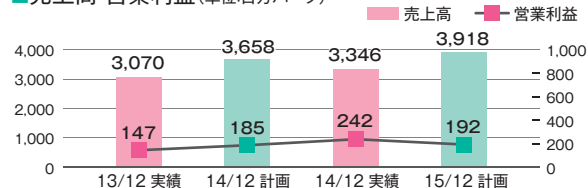


## タイ

## 「POCKY」、主力品の強化

- 新商品の投入、テレビCMの放映を行い、「POCKY」および主力品の強化を図ります。

■売上高・営業利益(単位:百万円)



※インドネシア等、周辺諸国への輸出分も含んでいます。

## smile.Glico 「スマイルグリコワゴンプロジェクト」がスタート

グリコワゴンの新しい取り組みとして、「スマイルグリコワゴンプロジェクト」を開始しました。

この取り組みは、コーポレートメッセージである「smile.Glico」の実行施策として、いつもがんばっている人や悩んでいる人のもとへグリコワゴンがお伺いして、みなさんを笑顔にするお手伝いをさせていただくという活動です。

グリコワゴンが笑顔をお届けし、その模様をWEB動画で広く拡散・話題化させることで、グリコのコーポレートイメージを向上させることを目的としています。

スマイルグリコワゴンホームページにムービーで掲載していますので、ぜひご覧ください。

<http://cp.glico.jp/wagon/index.html>



## FSSC22000の認証を取得



2015年1月23日、江崎グリコ、グリコ乳業、グリコ栄養食品ら17生産会社等でFSSC22000の認証を取得しました。

FSSC22000とは、世界標準の食品安全マネジメントシステムのひとつで、品質向上を図るマネジメントシステムであるISO9001、健康被害を生じる食品を出荷させないシステムであるHACCP、フードディフェンス（食品防御）対応を含めた製造施設の管理基準（ISO/TS22002-1）

を兼ね備えた食品安全システムです。

製品の設計段階から、原料の調達、製造、物流にわたる部門も審査を受け、製造会社が認証を取得したことは、国内の食品メーカーでは初めてで、グリコグループの取り組みは外部の審査機関からも高い評価を受けております。

これからもFSSC22000の活動を通じて、世界標準にふさわしい品質保証体制の構築に向けて活動を継続してまいります。

## 「Yahoo! 検索大賞2014」飲料部門で、アーモンド効果が受賞

12月8日、インターネット上の検索数が、2014年もっとも上昇した製品などを表彰する「Yahoo! 検索大賞2014」の発表会が虎ノ門ヒルズ（東京都港区）で行われ、プロダクトカテゴリーの飲料部門でグリコの「アーモンド効果」が受賞しました。

「Yahoo! 検索大賞2014」は2014年1月1日～

11月1日までの「Yahoo! 検索」データをもとに、前年に対して最も検索が上昇した人物・作品・製品に贈られる賞です。“今年の顔”となる「大賞」のほか「パーソンカテゴリー（全8部門）」「カルチャーカテゴリー（全5部門）」「プロダクトカテゴリー（全5部門）」それぞれから選出されました。



# 「おつまみ」、「おやつ」「スナック」へ

ドイツの「プレッセル」というおつまみをヒントに開発研究された「プリッツ」。

昭和33年ごろより、改良と品種追加を重ねて多くのお客さまに支持されてロングラン商品に成長しました。

## 「おつまみ」から「おやつ」へ

昭和33年ごろ、ビールの本場であるドイツで「おつまみ」として親しまれているプレッセルという製品があると情報を得て、開発研究を開始しました。

ドイツからプレッセルの製造機械も輸入し、「プリッツ」という商標登録も済ませます。



輸入機械/パンフ



バタープリッツ  
(S38年)

1963

当初は「おつまみ用」と、「おやつ用」の2つの方向で開発に取り組みました。最初はドイツにならい「おつまみ用」の商品をテスト販売しましたが、菓子小売店が販売ルートでしたので回転には結びつきませんでした。そこで、「おやつ用」の『バタープリッツ』(30円、50円)を昭和38年に名古屋地区でテスト販売を行いました。パッケージには子供の顔をあしらひ

新聞広告 (S41年)



「バターたっぷりの甘いステック」を訴求ポイントとしました。

結果は予想外の売れ行きで、生産が間に合わず品切れが続出し、取引先からはお叱りを受ける状況でした。

## 製造機械の自社開発

当時ドイツから輸入した機械は生産性が低く、プリッツの全国展開には、生産能力の高い機械の自社開発しかないとの決意で取り組み、昭和40年に、輸入機の4倍の能力を有する機械の開発に成功しました。そして、昭和41年には、さらに2倍の能力の機械の開発に成功し、全国展開に結びつきました。

## 「おやつ」から「スナック」へ

プリッツはその後改良と品種追加を重ねて大型商品へ育ちました。昭和44年には『サラダプリッツ』を、昭和59年には、開発当初に手がけたビールの「おつまみ」に再挑戦した『ピアプリッツ』を発売します。

今日では、「おやつ」だけでなく「スナック」としても支持されるロングラン商品となっております。



サラダプリッツ  
(S44年)

1969



プリッツ<サラダ>  
(現在)

2015

## 菓子

江崎グリコ株式会社

### ギュッと小さなご褒美を。

#### 【ポッキー】〈デミタス〉

チョコレートのおいしさを短い一本にギュッと濃縮した、甘すぎない大人の濃厚ショートポッキーです。カカオ分1.7倍※だから、味わい濃厚フルボディ。

※当社ポッキーチョコレート比、1本当たり



### ブリッツ史上最も細い

#### 【超細ブリッツ】 〈じゃがバター〉〈コンソメ〉

ブリッツ史上最も細い2.7mm!超細く焼いたのでパキパキとした食感が楽しい、クセになる味わいのブリッツです。

〈じゃがバター〉

じゃがいもとバターを練りこみ、カリッと焼き上げました。

〈コンソメ〉

野菜の甘みとチキンの旨みをとじこめ、カリッと焼き上げました。





## 話題の糖質オフを手軽に

### 【糖質offキッチン】

〈野菜たっぷり麺 醤油とんこつ味〉〈野菜たっぷり麺 ピリ辛胡麻みそ味〉  
 〈しっかり煮込んだボロネーゼ〉〈パルメザンチーズと卵黄のカルボナーラ〉

食物繊維を練り込むグリコ独自の製麺技術により、麺の糖質量を30%オフしました。

(日本食品標準成分表の一般品との比較)

糖質やカロリーが気になる方におすすめの“からだにも美味しい”ラーメン&パスタです。



「糖質offキッチン」は、同封の通販カタログから、お申し込みいただけます。

## 乳製品

グリコ乳業株式会社

### 朝食りんごシリーズから スムージータイプ新発売

#### [朝食りんご Smoothie] [朝食みかん Smoothie]

Smoothie(スムージー)は、野菜や果物の果肉感が感じられるドリンクで、そのヘルシーなイメージから近年大変注目されています。グリコ独自の技術で果汁ジュレを配合し、飲む前に振ることでヨーグルトと混ざり合い、フルーティーな美味しさが広がります。



### 幼児スポロンに新フレーバー登場

#### [幼児スポロンもも]

お子様に人気の“もも味”の乳酸菌飲料です。幼児スポロンのコク深く甘ずっぱい味わいはそのままに、国産の白桃果汁を使用してふんわりやさしい味わいに仕上げました。



## 幼児食

アイクレオ株式会社

### 幼児期の咀嚼練習や味覚形成に配慮した 「1歳からの幼児食」に新味が仲間入り

#### 【1歳からの幼児食】

〈中華風野菜めん〉〈鶏と大豆のミネストローネ〉  
〈やわらか筑前煮〉

「1歳からの幼児食」は咀嚼練習期に配慮した具の大きさや形・固さに、味覚形成期に配慮したうす味仕上げのレトルト食品です。今年は新味3品が仲間入りしました。お子様の味覚の世界を広げます。



## ぐりこ・や Kitchen新大阪駅店

江崎グリコ株式会社

### ぐりこ・や Kitchen新大阪駅店 限定販売 フライドスナックPritta(プリッタ) 店内製造の美味しさを提供

特製プレッツェル生地を、店内Kitchenにて表面はサクリ・中はもちりにフライしています。「シュガーバター」「ソルト&ペッパー」等甘辛6味があり、ビール等飲物との相性も抜群。旅や出張にぴったりの新しい美味しさです。各380円(税込)



会社の概要

商 号 江崎グリコ株式会社  
創立年月日 大正11年2月11日  
資 本 金 7,773,681,654円  
営 業 品 目 菓子・食料品の製造および売買。  
従 業 員 数 4,780名(連結)  
本社所在地 〒555-8502 大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号

主な事業所

- 本社  
〒555-8502  
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号  
電話 (06) 6477-8352

●北海道・東北統括支店  
〒983-0852  
仙台市宮城野区榴岡四丁目2番3号  
電話 (022) 292-1961

●関東信越統括支店  
〒370-0828  
群馬県高崎市宮元町212番地  
電話 (027) 330-1914

●首都圏統括支店  
〒108-0074  
東京都港区高輪四丁目10番18号  
電話 (03) 5488-8161
- 中部統括支店  
〒461-0022  
名古屋市東区東大曽根町22番28号  
電話 (052) 919-0714

●近畿統括支店  
〒555-8502  
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号  
電話 (06) 6477-8470

●中四国統括支店  
〒732-0816  
広島市南区比治山本町16番35号  
電話 (082) 250-4212

●九州統括支店  
〒812-0016  
福岡市博多区博多駅南一丁目10番4号  
電話 (092) 474-0331

主な関係会社

仙台グリコ株式会社  
茨城グリコ株式会社  
グリコ千葉アイスクリーム株式会社  
関東グリコ株式会社  
三重グリコ株式会社  
関西グリコ株式会社  
グリコ兵庫アイスクリーム株式会社  
鳥取グリコ株式会社  
九州グリコ株式会社  
江栄情報システム株式会社  
東北フローズン株式会社  
関西フローズン株式会社  
グリコ乳業株式会社  
グリコ栄養食品株式会社  
アイクレオ株式会社

Thai Glico Co., Ltd  
Ezaki Glico USA CORP.  
上海江崎格力高食品有限公司  
上海江崎格力高南奉食品有限公司  
GLICO-HAITAI CO., LTD  
PT. Glico Indonesia  
Generale Biscuit Glico France S.A.  
PT. Glico-Wings

役 員

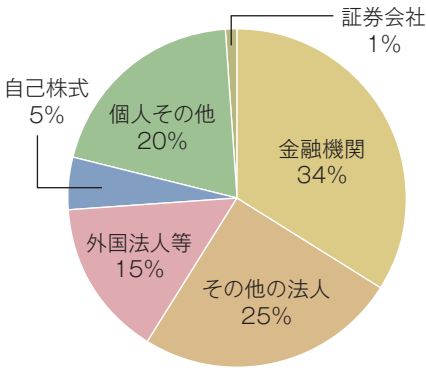
|         |         |       |         |           |           |
|---------|---------|-------|---------|-----------|-----------|
| 代表取締役社長 | 江 崎 勝 久 | 取 締 役 | 梅 崎 信 彦 | 監 査 役(常勤) | 吉 田 敏 明   |
| 取 締 役   | 江 崎 悦 朗 | 取 締 役 | 益 田 哲 生 | 監 査 役     | 倉 持 治 夫   |
| 取 締 役   | 安 積 正 裕 | 取 締 役 | 加 藤 隆 俊 | 監 査 役     | 岩 井 伸 太 郎 |
| 取 締 役   | 栗 木 隆   |       |         | 監 査 役     | 宮 本 又 郎   |



株式の状況

会社が発行する株式の総数 270,000,000株  
発行済株式総数 69,430,069株  
株主数 15,125名

所有者別株式数比率

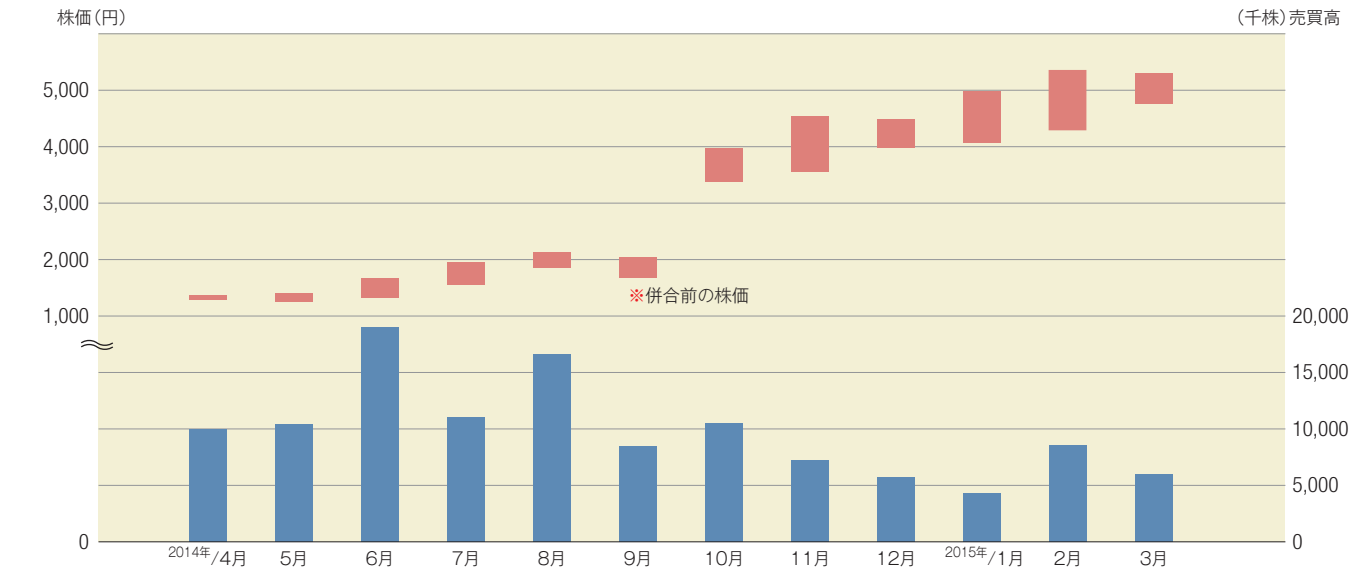


大株主 ※自己株除く

| 氏名又は名称                     | 持株数(千株) |
|----------------------------|---------|
| 掬泉商事株式会社                   | 4,131   |
| 大同生命保険株式会社                 | 3,500   |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)* | 3,214   |
| 佐賀県農業協同組合                  | 2,943   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)    | 2,896   |
| 日清食品ホールディングス株式会社           | 2,800   |
| 大日本印刷株式会社                  | 1,598   |
| 江崎グリコ共栄会                   | 1,490   |
| 大正製薬ホールディングス株式会社           | 1,010   |
| 江崎正道                       | 1,000   |

※信託型従業員持株会分の株式を含む

株価および株式売買高の推移



## 株主メモ

|        |                                                                                |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度   | 毎年4月1日から翌年3月31日まで                                                              |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催                                                                         |
| 基準日    | 定時株主総会 毎年3月31日<br>期末配当金 毎年3月31日<br>中間配当金 毎年9月30日<br>そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 |

|                               |                                        |
|-------------------------------|----------------------------------------|
| 株主名簿管理人<br>および特別口座の<br>口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社      |
| 株主名簿管理人<br>事務取扱場所             | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |

### 郵便の場合

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

### 電話照会先

 **0120-782-031**

※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となっております。

### インターネット ホームページURL

[http://www.smtb.jp/personal/  
agency/index.html](http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html)

公 告 の 方 法 当社のホームページに掲載する。  
(<http://www.glico.co.jp>)

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所

## 株主様 ご優待

株主の皆様の日ごろのご支援に対する感謝の御礼と致しまして、株主優待制度を実施しております。

2014年10月1日をもって株式併合および単元株式数の変更を実施いたしました。これに伴いまして、株主優待内容を変更いたしました。株主優待制度の概要は以下の通りであります。

なお、2014年9月30日現在の株主様への優待は今まで通りであります。

- 贈呈時期 12月上旬ごろ年1回
- 贈呈基準 9月30日現在の株主様へ  
※3月31日現在の株主様への優待はございません。
- 100株～499株  
1,000円相当のグリコグループ製品を  
年1回
- 500株～999株  
2,000円相当のグリコグループ製品を  
年1回
- 1,000株以上  
4,000円相当のグリコグループ製品を  
年1回

# 株券電子化後の各種手続きについて

2009年1月5日に株券電子化となりました。名義や住所の変更などのお届出やご照会、また株券電子化後の单元未満株式の買取・買増のご請求については、いくつかご注意が必要です。

## 1 株式に関するお届出先 およびご照会先について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、株主メモ(17ページ)記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先(0120-782-031)にご連絡ください。

### お届け先・ご照会先

「ほふり」をご利用の  
株主様

「ほふり」を  
ご利用でない  
(特別口座)の株主様

株主様の口座のある  
証券会社

三井住友信託銀行株式会社

※「ほふり」：株式会社証券保管振替機構

## 2 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、株主メモ(17ページ)記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先(0120-782-031)にお願いいたします。

## 3 100株に満たない株式の 買増・買取をご検討ください

1单元(100株)に満たない株式は、市場での売買ができませんが、当社で、お持ちの株式と併せて100株となるように株式をお売りする、もしくは100株未満の株式を買取らせていただくことができます。

その際のお手続きにつきましては、証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引の証券会社等にご連絡ください。それ以外の株主様は、株主メモ(17ページ)記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先(0120-782-031)にご連絡ください。



江崎グリコ株式会社

<http://www.glico.co.jp>